

皆さんは 本日に
このままでもいいんですか!?

井上市長へ

不信任動議提出

吹田新選会は、市長の後援会副会長が代表を務める会社との2200万円にもものぼる不透明な単独随意契約の責任を問い、市長に対し不信任動議を提出いたしました。

記者会見と協議会での答弁が異なる、随意契約に至る手続きが不可解である、決裁権者は市長であるにもかかわらず全く把握していなかったと弁明する、迷惑をかけたとして維新の会を離党したなどの行為を考え、今後様々な開発案件を抱える吹田市において、癒着などの疑惑をもたれるような市長は適任ではないということが大きな理由です。



残念ながら動議に対して多数の議員が退席し、市長不信任決議に必要な定数3分の2を下回ったため流会になりましたが、百条委員会の開催が決定したため真相究明を図っていきます。

不信任決議退席会派

- ・ 自由民主党絆の会
- ・ 公明党
- ・ すいた市民自治
- ・ 吹田いきいきネットワーク

グリーンニューデール事件の概要

民間補助金の残額流用により市役所改修。しかし見積もりを1社からしかとらずに予定価格を決めた結果、予定価格を大きく下回る落札額となり、わざとかなと思えるほど多額の予算が余ること。

(吹田市の平均落札率87%)

LED電球への入替(落札率39%)

高遮熱性塗装(落札率22%)

断熱フィルム(落札率26%)

(落札率とは市が決める予定価格にたいする落札額の割合)

余った2500万円を使い切るとして急遽太陽光パネル設置が浮上。市役所内部での打ち合わせの段階から業者を呼び、その業者で単独随意契約をすることに決定。

業者は随意契約に決定となった数日前から太陽光パネルの仮押さえを実施。

(職員×17名)

業者が出した見積書は、値段が書かれただけのものであり、内訳書が一切存在しない。

入札も契約も終わった3月初旬、やはり見積もりは3社からとるべきであったとして、市が自分で値段を書き入れた見積書を、各落札業者に渡し、他社の印鑑を集めてくるよう指示し、見積書を偽造。

高遮熱塗装は「入札の際求めた面積」より「予定価格決定時の面積」がはるかに狭い(落札率低下の原因)

断熱フィルムは、「入札の際求めた工事面積が「実際に必要だった工事面積」よりはるかに狭い(業者がこのことを入札の際に知っていれば低価格での落札が可能)

グリーンニューデール基金を所管する環境省へは競争入札で行ったと虚偽報告。

市長の後援会副会長が代表の会社。さらに市長の私設秘書が当該業者の関連会社に勤務。報道後市長は私設秘書を即刻解雇。

値段が高すぎる。

今回の工事価格は1kwあたり130万円。民間では1kwあたり平均50万〜70万円。

平成21年に行われた夢つながり未来館のパネル設置費用は1kwあたり95万円。

市長は随意契約において2度も決済を行っているにもかかわらず、いきさつについて一切知らないと主張。記者会見では単独随意契約自体も知らなかったと主張。